

まちの話 だい

1月3日 | 花嫁に華やかな帯結び

大井神社の境内で、新しい花嫁衣装「帯結びドレス」のショーが開催されました。

この衣装は、ウエディングドレスの上から帯や着物を着付けるもの。各家庭で代々大切にされてきた和服を活用しようと、島田大祭の開催年に合わせ、宮美殿が初めて企画しました。初詣客が見守る中、着付師が2本の帯をモデルに手早く着付け、新しいスタイルのドレスを完成させました。



六合コミュニティ寄席



1月26日 | 六合地区で落語初笑い

六合公民館多目的ホールで、島田市ふるさと大使で落語家の三遊亭遊喜さんによる落語会「六合コミュニティ寄席」が開かれました。

これは、六合コミュニティ委員会が毎年企画している文化講演会として開催。同地区の住民約200人が、落語に耳を傾けました。遊喜さんは「寿限無」「熊の皮」「徂徠豆腐」を軽妙な語り口で披露し、来場者の笑いを誘っていました。

トピックス

平成30年度島田市芸術文化奨励賞



ピアニスト・指揮者として世界で活躍する鈴木啓資^{すずきけいし}さんが、卓越した技術とクラシック音楽普及のための精力的な活動が評価され、平成30年度島田市芸術文化奨励賞を受賞しました。

野田出身の鈴木さんは、ハンガリーの名門音楽大学で学び、国内外のピアノコンクールで多数入賞。また「アルディフィルハーモニー管弦楽団」を設立し、人々がクラシック音楽に触れる機会を創り出しています。鈴木さんは「全世代にクラシック音楽を楽しんでほしい」と、今後の活動に更なる意欲を見せました。





1月12日 | 安全安心な地域を願って

毎年恒例の「交通安全・防犯パレード、^{たこ}凧揚げ大会」が金谷地区で開催され、市民や団体約300人が参加しました。

パレードは、交通事故の根絶と防犯のまちづくりを啓発する大凧やのぼり旗を手に、金谷小学校から大井川河川敷までの約1.5kmを行進。ゴール会場では、子どもたちが手作りした凧を空高く揚げ、地域の安全・安心を願いました。

1月7日 | 1年の災い払う伝統行事

千葉山智満寺で、正月を締めくくる伝統行事「鬼払い」が行われました。これは、暗闇から現れ堂内で暴れまわる鬼を読経によって退治し、1年の無病息災を願う儀式です。

人の煩惱を現した「赤・青・白」の三鬼が力尽き、本堂の外へ逃げ出した後、松明^{たいまつ}を投げ捨てます。この松明の燃えさしは「魔除け」とされることから、訪れた参拝客は熱心に拾い上げていました。



1月4日 | 防火への決意を新たに

消防職員や消防団ら約500人が参加し、島田市消防団出初式が行われました。市役所駐車場では、市長と団員たちが一同に会して観閲式を開催し、防火への決意を新たにしました。

恒例のパレードでは、市役所からJR島田駅まで団員と消防車両約20台が、一糸乱れぬ動きで行進。その勇壮な姿に、沿道に集まった市民からは大きな拍手が送られました。